

試験ID 1966

JIS A 1145 : 2017

骨材のアルカリシリカ反応性試験方法 (化学法)

試験依頼番号 第200015号

試験依頼者名 瀬戸砕石株式会社

工事番号・工事名・路線名 -

試験年月日 (供試体搬入日) 2020年6月8日~2020年6月9日 (2020年6月1日)

試験者 試験責任者 高橋 徹 試験担当者 高橋 徹

試料採取箇所 福島県いわき市瀬戸町地内 試料採取日 2020年5月30日

試料名称 コンクリート用砕石2005 試料の産地 福島県いわき市瀬戸町地内

アルカリ濃度減少量 (Rc mmol/L)

1mol/L-NaOHファクター 1.002

$$Rc=20 \times 0.05 \times HCl F \times (V3-V2) \times 1000 / V1$$

0.05mol/L-HClファクター(HCl F) 1.000

減アルカリ濃度	No	試料量(g)	反応時間(hr)	V1(ml)	V2(ml)	Rc(mmol/L)	平均値	偏差(mmol/l)	精度
	1	25.00	24.00	20.00	18.63	49	56	7	合格
2	25.00	24.00	20.00	18.40	60	4			
3	25.00	24.00	20.00	18.40	60	4			
Rc	BL(V3)ml			19.60					

溶解シリカ量 (Sc mmol/L) : 吸光光度法

$$Sc=20 \times 100 / V \times A / 28.09$$

溶解シリカ量	No	採取量V(ml)	けい素量A(mg/L)	Sc(mmol/L)	平均値	偏差(mmol/l)	精度
	1	10.00	2.59	18	19	1	合格
2	10.00	2.62	19	0			
3	10.00	2.69	19	0			

Sc

骨材のアルカリシリカ反応性の判定

区分 A 無害

判定基準

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、各定量値の平均値を用いて行う。

溶解シリカ量 (Sc) ≥ 10 mmol/Lで、アルカリ濃度減少量 (Rc) < 700 mmol/Lの時、 $Rc \leq Sc$ となる場合、この骨材を無害でないもの (区分B) と判定し、それ以外の場合を無害 (区分A) と判定する。(ただしRc ≥ 700 mmol/Lの場合は判定しない。)

許容精度

アルカリ濃度減少量(Rc)及び溶解シリカ量(Sc)の3個の定量値は、いずれもその平均値との差が10%以内でなければならない。但し、Rc及びScともに100mmol/L以下の場合には、平均値との差が10mmol/L以内であればよい。

備考

一般財団法人ふくしま市町村支援機構 試験審査所

当試験報告書は原本であることを証する

2020年6月9日

一般財団法人 福島市町村支援機構

試験審査所長

